

ひがしの子

佐久市立東小学校学校だより 平成 28 年 6 月号



“きく”ということ～6月校長講話から～

赤ちゃんは、おなかの中にいる時から、もうおなかの外の音を聞いているのだそうです。

私やみなさんが生まれたときは、今のようにお話することも本を読むことも、文字を書くこともできませんでした。それもそのはずで、「言葉」を知らなかったからです。

でも、今の私やみなさんは、たくさんの「言葉」を知っていますし、その「言葉」を使ってお話したり、自分の考えていることや感じていることを友だちに伝えたりしています。どのようにして、「言葉」を学んでいったのでしょうか。

私は自分の名前が「〇〇」であることは、小さい頃にいろいろな人から名前を呼ばれて、「〇〇」という言葉が自分につけられた名前だということを知ったのだと思います。耳から「きいた」ことで言葉を学びました。

音楽会に向けて練習している歌も、「きいて」学んでいます。楽譜の音符を見て、ああこう歌えばいいなんだという人もいるでしょうが、大体は先生が歌うのを「きいたり」、ピアノの音を「きいて」合わせたりして、それを真似して歌えるようになったのだと思います。

このように、私たちは、言葉や音を「きいて」覚えて、使えるようになってきました。本や教科書を読んで学ぶことも大切ですが、きちんと

「きいて」学ぶことは、いろんな場面でとても大切なことだと思います。しっかりきかなかった、他のことをしていききそびれたことで、学んでおかなければならないことが頭に入ってこなかったということはありませんか。私たちは、見て学ぶ、感じて学ぶなどがありますが、私はまず「きいて」学ぶことを大切にしてほしいと思います。

先日、茂木先生から、「聞き方あいうえお」のお話をお聞きし、教室にもこうした掲示物があります。この「聞き方あいうえお」がなぜ大切か、考えてみたいと思います。ここでもう一度、「聞き方あいうえお」を確認します。（全校で確認する）

小林先生に協力していただいて、二つの場面を見ていただきます。最初は、「聞き方あいうえお」ができていない場面、次はできている場面です。【2つのパターンのロールプレイのあと感想を子どもたちに聞く。】

この「聞き方あいうえお」は、聞き手ばかりでなく、話をしている人にとっても大切なことがわかってもらえましたか。

今日は、「きく」ことをがんばろうというお話をしました。しっかりと「聞き方あいうえお」で聞いてくれてありがとう。（一部省略）

東の子応援団運営委員会開催

昨年度、東小学校を信州型コミュニティスクールにしたいと準備委員会を開催するとともに、学校支援ボランティアの募集も行ってきました。この6月23日にコミュニティ



ースクールの中核となる「東の子応援団運営委員会」を開催し、委員会の組織や役割などを「東小プラン」としてまとめ、協議をしていただきました。その中で委員長として区長会長の山本さん、副委員長として東公民館長の高橋さん、PTA会長の田中さん、学校評議員の花里さん、水澤教頭（兼コーディネーター）を選出していただきました。

今年度は、既に学校ボランティアの方々に、見守り隊をはじめ、クラブ活動や3年遠足付き添い、読み聞かせ、田植体験学習、給食支援、参観日託児、畑の整備など、数多くの支援をしていただいています。この運営委員会を中心に、今後も地域とともに歩む学校づくりを目指してまいります。今後は、このたよりで活動の様子をお伝えしていきます。

たり無言で清掃するよさを感じたりして、お世話になっている校舎をさらにきれいにしようという態度を育てたいと考えます。本校では、全校を24の縦割り班に編制し、それぞれが分担場所の清掃を行います。先日、その縦割り班で役割分担や清掃場所を確認しました。



今年度の重点活動の一つとして「めあてをもってそうじに取り組もう」を目指しています。この旬間を機会に、子どもたちの清掃に向かう気持ちや態度を見直し、更に高めていきた

【地域の方々へ】体育館の天井工事に伴い、従来使用していた体育館東側の駐車場が8月末まで使用できません。校庭入口付近のスペースをご利用ください。

いと思います。

- 1日（金） クラブ活動
- 2日（土） PTA草取り作業
- 5日（火） 高学年参観日
水難救助法講習会
- 7日（木） 支部児童会②
- 8日（金） 児童会
- 12日（火） 低学年参観日

無言清掃旬間を実施します。落ち着いた気持ちで清掃に取り組むことで、自ら汚れを見つけ

縦割り班

無言清掃旬間